

うちなー
沖縄芝居と乙姫劇団について
しまくとらばで伝えます。

第5回
講演会



演 題：芝居に息づくしまくとらば

講 師：仲里 松子 (県指定無形文化財琉球歌劇保持者)

喜歌劇「今帰仁祝女殿内」

講演に先がけ、沖縄芝居の名作を琉球芸能専攻学生により上演致します。

〈聞き手〉 具志 幸大

県立芸術大学大学院修了、玉城流いずみ会師範、安富祖流絃聲会師範

日 時 令和元年7月12日(金) 19時開演 (18時30分開場、21時閉会予定)

場 所 沖縄県立芸術大学 奏楽堂
那覇市首里当蔵町1-4

主 催 沖縄県立芸術大学附属研究所

問い合わせ ☎098-882-5615

※当日先着入場、整理券は発行致しません
※ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい

無料
先着250席

沖縄県立芸術大学しまくとらば実践教育プログラム開発事業
芸能から受け継ぐ「誇るごやごまんとらば」

講師略歴

なかざと まつこ
仲里 松子

県指定無形文化財琉球歌劇保持者、玉城流玉扇会師範、沖縄タイムス社奨励賞「演劇・演技」受賞。

1934年名護市出身。幼少の頃、家族と共に南洋に渡り10才で料亭にて芸能に関わる。

1956年22才で乙姫劇団に所属、二枚目三枚目と多様多彩な役柄を演じ活躍した。一方で、役者の他にも琉球舞踊から地謡までを熟しその人柄から「松ちゃん姉さん」と称され親しまれる。現在は、戦前・戦後を通して沖縄の芸能に携えられた経験による貴重な技芸の伝承に尽力する。



幕開け 「今帰仁祝女殿内」

指導：中曽根律子(県立芸術大学非常勤講師)
出演：沖縄県立芸術大学 琉球芸能専攻学生

〈配役〉

若按司	猪野屋 楓	カマド	石嶺 李安
三 良	下地心一郎	チラー	仲宗根朝子

〈地謡〉

歌三線	波平 宇宙
太 鼓	堀川 裕貴

講演メモ

令和元年度

沖縄県立芸術大学しまくとうば実践教育プログラム開発事業

第6回講演会 芸能から受け継ぐ「誇らしゃ しまくとうば」

期 日 令和元年11月15日(金) 19時

会 場 那覇市ほしぞら公民館

講 師 劇団綾船 座長 平良 進